



# 手子林公民館 令和3年度の新刊

## 新刊情報

～公民館図書室からのお知らせ～

芥川賞

『貝に続く場所にて』 石沢麻依 著

異国に暮らす主人公のもとに、震災で行方不明になったはずの友人が現れ物語が展開、時間と記憶が重なり合い・・・

『彼岸花が咲く島』 李琴峰氏 著

記憶をなくした少女。流れ着いた島では二つの言語が話されていた。少女はしだいにこの島の深い歴史に導かれていく。

直木賞

『テスカトリポカ』 佐藤究 著

出会った二人の男は新たなビジネスを始める。2人に巻き込まれる少年や滅亡した古代文明が裏社会とつながる様子が描かれる。

『星落ちて、なお』 沢田瞳子 著

天才絵師の父の死後、娘である主人公が父の影に翻弄されながらも兄弟との争いの中で懸命に生きる姿を描いた歴史小説

直木賞候補作 『高瀬庄左衛門御留書』 砂原浩太郎 著

藩に仕える庄左衛門。妻子を亡くした老いて行く身。しかしゆっくりと確実に藩の政争の渦中へ。

『スモールワールズ』 一穂ミチ 著

ままならない現実を抱えて生きる人たちの6つの物語。全国の書店員さん共感度5つ星。

『エレジーは流れない』 三浦しをん 著

平穏な暮らしを願う男子高校生。そんな主人公の気持ちにお構いなく騒動が。青春群像小説！

『青天を衝け』 一・二 NHK大河ドラマ「青天を衝け」完全小説版 全四巻

芥川賞

『ブラックボックス』 砂川文次 著

ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。気鋭の実力派作家、新境地の傑作。

『捜査線上の夕映え』 有栖川有栖 著

ありふれた事件のはずだった。不気味なジョーカーの存在。火村シリーズ誕生30年！圧倒的にエモーショナルな本格ミステリ。

直木賞

『塞王の楯』 今村翔吾 著

「最強の楯」VS「至高の矛」。ぶつかり合う、矛盾した想い、その答えは。誇りをかけた職人同士の戦いを描く、圧倒的戦国小説！

『五つの季節に探偵は』 逸木裕 著

謎を解く。たとえ誰かを不幸にしても。探偵が会った、魅惑的な5つの謎。精微なミステリ×重厚な人間ドラマ。ミステリ連作短編集。

『黒牢城』 米澤穂信 著

事件の裏には何が潜むのか。戦と推理の果てに村重、官兵衛は何を企む。信長に反逆した村重と囚われの官兵衛、二人の推理が歴史を動かす。

『はじめての』 島本理生・辻村深月

・宮部みゆき・森絵都 著 4人の直木賞作家がYOASOBIとコラボレーション。「はじめて」がモチーフの4つの物語。

日本文学振興会よくあるご質問 Q. 芥川賞と直木賞の違いを教えてください。

A. 芥川賞は、雑誌（同人雑誌を含む）に発表された、新進作家による純文学の中・短編作品の中から選ばれます。直木賞は、新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）が対象です。